

## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03 (6229) 0881  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月9日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	96,110	8.8	6,308	6.5	1,240	39.1
2022年3月期	88,365	2.0	5,925	53.8	891	16.8

(注) 包括利益 2023年3月期 △4,209百万円 (－%) 2022年3月期 △722百万円 (－%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	49.97	—	3.0	3.3	6.6
2022年3月期	35.93	—	2.1	3.1	6.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	191,036	38,864	20.3	1,560.77
2022年3月期	192,109	43,073	22.4	1,730.44

(参考) 自己資本 2023年3月期 38,738百万円 2022年3月期 42,950百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	4,887	△6,425	—	31,945
2022年3月期	4,641	△5,818	△0	33,245

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	248	20.0	0.6
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00	—	27.2	—

(注) 添付資料の5ページ「1. 経営成績等の概況 (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」をご参照ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	7.2	8,000	26.8	1,370	10.5	55.20

(注) 添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	24,820,530株	2022年3月期	24,820,530株
② 期末自己株式数	2023年3月期	112株	2022年3月期	112株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	24,820,418株	2022年3月期	24,820,422株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	827	50.1	272	702.4	270	—	243	—
2022年3月期	551	△1.0	33	△26.3	22	3.2	14	3.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	9.80	—
2022年3月期	0.57	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。  
2. 2023年3月期の経常利益及び当期純利益の対前期増減率については、1,000%以上となるため、「—」と記載しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	40,840	40,738	40,738	40,738	99.7	1,640.45
2022年3月期	40,595	40,497	40,497	40,497	99.7	1,630.75

(参考) 自己資本 2023年3月期 40,716百万円 2022年3月期 40,475百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当連結会計年度の経営成績の概況	2
(2) 当連結会計年度の財政状態の概況	4
(3) 当連結会計年度のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

※ 当社は、2023年3月期連結決算についての機関投資家・アナリスト向け説明会（Web会議）を2023年5月11日に開催する予定です。当説明会資料につきましては、当社ホームページに掲載いたします。

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当連結会計年度の経営成績の概況

#### ① 当社グループの経営成績

当連結会計年度における当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	対前年度増減率 (%)
経常収益	88,365	96,110	8.8
経常利益	5,925	6,308	6.5
親会社株主に帰属する当期 純利益	891	1,240	39.1

経常収益は、すべての事業における保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年度に比べ7,745百万円増加し、96,110百万円（前年度比8.8%増加）となりました。この増収効果により、経常利益は前年度に比べ383百万円増加の6,308百万円（同6.5%増加）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益については、生命保険事業における団体信用生命保険の契約件数が順調に増加したことに伴い、契約者配当準備金繰入額を前年度に比べ増額計上したものの、固定資産等処分損などの特別損失や法人税及び住民税等が前年度より減少したことなどにより、前年度に比べ348百万円増加の1,240百万円（同39.1%増加）となりました。

なお、参考情報として、生命保険事業における特別勘定（※）に係る収益を除いた経常収益について、下記に記載しております。

（※）変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

<参考情報>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	対前年度増減率 (%)
特別勘定に係る収益を除いた 経常収益	87,265	94,952	8.8

#### ② セグメントごとの経営成績

当連結会計年度におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	経常収益			セグメント利益（経常利益）		
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減率 (%)	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減率 (%)
損害保険事業	33,655	34,110	1.4	1,536	1,570	2.2
生命保険事業	25,258	30,622	21.2	4,704	5,145	9.4
少額短期保険事業	29,695	31,570	6.3	256	215	△15.9
報告セグメント計	88,609	96,304	8.7	6,497	6,931	6.7
セグメント間消去又は 調整	△243	△193	—	△572	△623	—
連結損益計算書計上額	88,365	96,110	8.8	5,925	6,308	6.5

（注）セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

SBIグループの重点施策である「オープン・アライアンス戦略」に沿って、三井住友カード株式会社とデータ分析支援サービスを用いた自動車保険募集の取り組みを開始するなど、多様な事業法人や地域金融機関との連携に基づいたサービスの提供により、更なる顧客基盤の拡大に向けた取り組みを推進しました。また、がん保険では、AI搭載型OCR（光学式文字読取システム）を用いて必要書類の文字情報を読み取る「AI保険金査定システム」を新たに導入し、保険金の支払査定プロセスにおけるデジタル化を推進するなど、DXによる新たな顧客体験の創出に取り組みました。加えて、法人向けがん保険の加入者さまが健康相談サービスなどを無料で利用出来る「健康サポートサービス」の提供を新たに開始するなど、付帯サービスの拡充によるお客さま満足度の向上にも取り組みました。こうした取り組みの結果、2023年3月末の保有契約件数は1,199千件（前年度末比2.3%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年度比1.4%増加の34,110百万円となりました。セグメント利益は、この増収効果により、前年度比2.2%増加の1,570百万円となりました。

(生命保険事業)

個人保険分野では、2022年11月より医療保険「SBI生命の終身医療保険Neo」の販売を開始しました。本商品は、高い価格競争力を実現したほか、基本的な保障に加えてお客さまのニーズが高い特約を多数ラインナップし、シンプルな保障から充実した保障まで多様なニーズに対応できる点などが特長の医療保険となっており、特にインターネット経由での販売が好調に推移しました。また、団体信用生命保険（住宅ローン等のご利用者さま向けの団体保険）では、住信SBIネット銀行株式会社などの提携先での販売に加え、複数の金融機関等で新たに取扱いが開始されたことにより、販売が好調に推移しました。加えて、コールセンター運営では、今まで使用していた複数のシステムを集約しコールセンター専用のシステムを構築したほか、オペレーター全員がサポートサービス業界のメンバーシップ団体であるHDIの「HDIサポートスタッフ国際認定資格」を取得し「HDI認定チームアワード」を受賞するなど、お客さま対応の品質向上に取り組みました。こうした取り組みの結果、2023年3月末の保有契約件数（団体信用生命保険の被保険者数を含む）は397千件（前年度末比25.8%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数が順調に増加したことなどにより、前年度比21.2%増加の30,622百万円となりました。セグメント利益は、団体信用生命保険における保険料の増収が寄与し、前年度比9.4%増加の5,145百万円となりました。

(少額短期保険事業)

SBI日本少額短期保険株式会社では、賃貸申込手続きで利用される不動産プラットフォームシステムと保険契約管理システムとの接続先拡大に加え、賃貸申込時に加入が必要となる家賃保証サービスのシステムと保険契約管理システムとの接続先拡大にも取り組むなど、「不動産DX」を活用した顧客基盤の開拓を推進しました。また、SBIいきいき少額短期保険株式会社では、LINE公式アカウントからペット保険の保険金請求が可能となるサービスを開始するなど、デジタルツールを活用したお客さまの利便性向上に取り組んだほか、三井住友カード株式会社が提供する保険ポータルサイトでのペット保険の取扱いを開始するなど、外部企業との提携を通じた販路拡大にも取り組みました。加えて、SBIリスタ少額短期保険株式会社では、非金融事業者のサービスへ組み込み可能な保険商品を提供するなど新しい保険サービスの開発に取り組んでおり、プライダル事業を行う株式会社エスクリと開発した「結婚式総合補償保険」の販売が好調に推移しました。こうした取り組みの結果、2023年3月末の保有契約件数は999千件（前年度末比2.4%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年度比6.3%増加の31,570百万円となりました。セグメント利益は、保険金及び給付金支払いが前年度に比べ増加したことなどにより、前年度比15.9%減少の215百万円となりました。

(2) 当連結会計年度の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、191,036百万円（前年度末比1,073百万円減少）となりました。主な勘定残高は、有価証券124,955百万円（同2,273百万円減少）、現金及び預貯金33,106百万円（同1,658百万円増加）であります。

当連結会計年度末における負債合計は、152,172百万円（同3,136百万円増加）となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金136,929百万円（同2,952百万円増加）であります。

当連結会計年度末における純資産合計は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が1,240百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が5,451百万円減少したことなどにより、前年度末比4,209百万円減少の38,864百万円となりました。

(3) 当連結会計年度のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,299百万円減少し、31,945百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、保険金、年金、解約返戻金等の保険契約上の支払や事業費等に係る支出を上回る保険料の収入により、4,887百万円の収入超過（前年度は4,641百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出が有価証券の売却・償還による収入を上回ったことや、ソフトウェア開発を主とした無形固定資産の取得による支出などにより、6,425百万円の支出超過（前年度は5,818百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローはありませんでした（前年同期は0百万円の支出超過）。

(4) 今後の見通し

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	(参考) 2023年3月期 実績	2024年3月期 連結業績予想	対前年度増減率 (%)
経常収益	96,110	103,000	7.2
経常利益	6,308	8,000	26.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,240	1,370	10.5
1株当たり当期純利益(円)	49.97	55.20	

2024年3月期の連結業績は、すべての事業における保有契約件数の堅調な増加を見込んでおり、引き続き成長基調を維持していく見通しです。

また、当社は2023年5月に中期経営計画（2024年3月期～2028年3月期）を策定いたしました。この中期経営計画における2028年3月期の連結業績目標は次のとおりであります。

	(参考) 2023年3月期 実績	2028年3月期 連結業績目標	対2023年3月期 増減率
経常収益	961億円	1,600億円	66.5%
経常利益	63億円	170億円	169.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	12億円	40億円	222.5%

詳細につきましては、2023年5月11日公表の「中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご参照ください。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、グループ各社の利益成長、今後の経営環境の変化への対応及び財務体質強化のための内部留保との調和を図りつつ、株主に対して安定的な利益配当を継続していくことを基本方針としております。

前年度までは、当社グループが成長途上であるため、期間利益を内部留保し、安定配当の実現に向けた経営基盤づくりのために有効活用してまいりましたが、連結業績が順調に伸長していることから、当社の株主のみなさまへの利益還元を開始が可能と判断し、2023年5月11日開催の当社取締役会において、当社初となる剰余金の配当（1株当たり10円の期末配当）を実施することを決議いたしました。

また、当社が2023年5月に策定した中期経営計画（2024年3月期～2028年3月期）において、配当については連結配当性向30%前後の水準で実施することを掲げており、2024年3月期においては、1株当たり15円の期末配当を実施する予定です。

	2023年3月期 配当決定額	2024年3月期 配当予想
1株当たり期末配当金	10円00銭	15円00銭

なお、毎事業年度における配当回数についての基本的な方針は、年1回（通期の連結業績を踏まえて実施する期末配当）としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。国際会計基準（IFRS）の適用については、保険契約に係る会計基準による連結財務諸表作成に与える影響等の分析・評価を行い、関係当局の動向等も注視しながら検討を進めることとしております。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	31,447	33,106
買入金銭債権	4,813	995
金銭の信託	147	610
有価証券	127,228	124,955
貸付金	157	186
有形固定資産	705	858
建物	312	421
リース資産	2	1
その他の有形固定資産	390	435
無形固定資産	8,216	8,284
ソフトウェア	4,272	4,474
のれん	3,186	3,131
その他の無形固定資産	757	678
代理店貸	119	116
再保険貸	5,216	6,993
その他資産	12,888	13,781
繰延税金資産	468	449
支払承諾見返	700	700
貸倒引当金	△1	△1
資産の部合計	192,109	191,036
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	133,976	136,929
支払備金	19,929	21,868
責任準備金	110,781	110,987
契約者配当準備金	3,265	4,073
代理店借	423	467
再保険借	4,946	5,561
その他負債	7,874	7,317
退職給付に係る負債	28	21
価格変動準備金	851	967
繰延税金負債	234	207
支払承諾	700	700
負債の部合計	149,036	152,172
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	3,558	4,798
自己株式	△0	△0
株主資本合計	43,994	45,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,043	△6,495
その他の包括利益累計額合計	△1,043	△6,495
新株予約権	21	21
非支配株主持分	101	103
純資産の部合計	43,073	38,864
負債及び純資産の部合計	192,109	191,036



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
経常収益	88,365	96,110
損害保険事業	33,522	33,981
保険引受収益	33,085	33,437
正味収入保険料	32,506	33,414
積立保険料等運用益	17	22
責任準備金戻入額	561	—
資産運用収益	396	514
利息及び配当金収入	223	285
売買目的有価証券運用益	14	36
有価証券売却益	3	7
その他運用収益	172	206
積立保険料等運用益振替	△17	△22
その他経常収益	40	29
生命保険事業	25,240	30,606
保険料等収入	19,642	25,093
保険料	15,066	18,597
再保険収入	4,575	6,495
資産運用収益	4,788	4,886
利息及び配当金等収入	2,475	2,515
有価証券売却益	1,082	1,865
有価証券償還益	62	1
金融派生商品収益	1	—
為替差益	83	—
貸倒引当金戻入額	1	—
その他運用収益	40	504
特別勘定資産運用益	1,041	—
その他経常収益	810	626
少額短期保険事業	29,602	31,522
保険料等収入	29,091	31,186
資産運用収益	0	0
その他経常収益	510	336
経常費用	82,439	89,801
損害保険事業	32,019	32,480
保険引受費用	22,306	22,092
正味支払保険金	18,347	19,563
損害調査費	3,978	4,087
諸手数料及び集金費	△3,096	△3,884
支払備金繰入額	3,076	1,930
責任準備金繰入額	—	395
その他保険引受費用	0	0
資産運用費用	328	328
金銭の信託運用損	149	236
有価証券売却損	152	62
その他運用費用	26	28
営業費及び一般管理費	9,350	10,054
その他経常費用	34	5

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
生命保険事業	20,531	25,450
保険金等支払金	15,306	17,893
保険金	3,517	4,928
年金	824	611
給付金	1,177	1,467
解約返戻金	3,505	2,544
その他返戻金	1,261	1,401
再保険料	5,020	6,940
資産運用費用	468	2,039
支払利息	1	2
有価証券売却損	—	1,057
有価証券評価損	291	—
有価証券償還損	0	4
金融派生商品費用	—	351
為替差損	—	84
貸倒引当金繰入額	—	0
その他運用費用	175	309
特別勘定資産運用損	—	229
事業費	4,349	4,871
その他経常費用	407	645
少額短期保険事業	29,317	31,247
保険金等支払金	18,286	20,010
責任準備金等繰入額	517	424
事業費	10,481	10,728
その他経常費用	32	83
その他	570	623
経常利益	5,925	6,308
特別損失	417	167
固定資産等処分損	251	51
減損損失	45	—
価格変動準備金繰入額	120	116
契約者配当準備金繰入額	3,340	4,298
税金等調整前当期純利益	2,167	1,842
法人税及び住民税等	1,373	592
法人税等調整額	△102	3
法人税等合計	1,271	595
当期純利益	895	1,246
非支配株主に帰属する当期純利益	4	6
親会社株主に帰属する当期純利益	891	1,240

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	895	1,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,618	△5,456
その他の包括利益合計	△1,618	△5,456
包括利益	△722	△4,209
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△724	△4,211
非支配株主に係る包括利益	1	1

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,375	32,061	2,666	△0	43,102
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			891		891
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	891	△0	891
当期末残高	8,375	32,061	3,558	△0	43,994

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	572	572	21	99	43,796
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					891
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,615	△1,615	—	1	△1,614
当期変動額合計	△1,615	△1,615	—	1	△722
当期末残高	△1,043	△1,043	21	101	43,073

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,375	32,061	3,558	△0	43,994
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			1,240		1,240
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	1,240	—	1,240
当期末残高	8,375	32,061	4,798	△0	45,234

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△1,043	△1,043	21	101	43,073
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					1,240
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△5,451	△5,451	—	1	△5,449
当期変動額合計	△5,451	△5,451	—	1	△4,209
当期末残高	△6,495	△6,495	21	103	38,864

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,167	1,842
減価償却費	1,573	1,790
減損損失	45	—
のれん償却額	198	214
支払備金の増減額 (△は減少)	2,715	1,939
責任準備金の増減額 (△は減少)	△586	205
契約者配当準備金繰入額 (△は戻入額)	3,340	4,298
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4	△7
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	120	116
利息及び配当金等収入	△2,699	△2,801
金銭の信託関係損益 (△は益)	149	236
有価証券関係損益 (△は益)	△718	△757
金融派生商品損益 (△は益)	△1	351
支払利息	1	2
為替差損益 (△は益)	△220	△36
固定資産処分損益 (△は益)	210	51
特別勘定資産運用損益 (△は益)	△1,041	229
代理店貸の増減額 (△は増加)	20	3
再保険貸の増減額 (△は増加)	△505	△1,777
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	△946	△727
代理店借の増減額 (△は減少)	22	43
再保険借の増減額 (△は減少)	384	615
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	126	259
その他	79	74
小計	4,431	6,167
利息及び配当金の受取額	3,442	3,727
利息の支払額	△1	△2
契約者配当金の支払額	△2,080	△3,490
法人税等の支払額	△1,150	△1,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,641	4,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預貯金の純増減額 (△は増加)	△243	△75
買入金銭債権の取得による支出	△1,000	△300
買入金銭債権の売却・償還による収入	81	1,100
金銭の信託の増加による支出	△160	△700
有価証券の取得による支出	△28,943	△34,448
有価証券の売却・償還による収入	26,686	30,225
貸付けによる支出	△46	△43
貸付金の回収による収入	46	18
資産運用活動計	△3,579	△4,222
<b>営業活動及び資産運用活動計</b>		
有形固定資産の取得による支出	△201	△358
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△1,851	△1,684
子会社株式の取得による支出	△160	△160
その他	△25	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,818	△6,425
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	238
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,107	△1,299
現金及び現金同等物の期首残高	34,352	33,245
現金及び現金同等物の期末残高	33,245	31,945

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、SBI損害保険株式会社、SBI生命保険株式会社、及び少額短期保険会社5社の持株会社であるSBI少短保険ホールディングス株式会社を直接の子会社とする保険持株会社であり、これらの会社の経営管理等を行っております。傘下の子会社は、保険業法等の業種特有の規制環境の下にあり、各子会社においてそれぞれの経営戦略等を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は傘下の子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「損害保険事業」、「生命保険事業」、及び「少額短期保険事業」の3つを報告セグメントとしております。

(1) 「損害保険事業」は損害保険業を行っており、SBI損害保険株式会社1社で構成されております。

(2) 「生命保険事業」は生命保険業を行っており、SBI生命保険株式会社1社で構成されております。

(3) 「少額短期保険事業」は少額短期保険業を行っており、SBI少短保険ホールディングス株式会社、SBIいきいき少額短期保険株式会社、SBI日本少額短期保険株式会社、SBIリスタ少額短期保険株式会社、SBIプリズム少額短期保険株式会社及びSBI常口セーフティ少額短期保険株式会社（旧商号：常口セーフティ少額短期保険株式会社）の6社で構成されております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部経常収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。



3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	33,522	25,240	29,602	88,365	—	88,365
セグメント間の内部経常 収益又は振替高	133	17	92	243	△243	—
計	33,655	25,258	29,695	88,609	△243	88,365
セグメント利益(注) 3	1,536	4,704	256	6,497	△572	5,925
セグメント資産	56,113	123,640	14,357	194,112	△2,002	192,109
その他の項目						
減価償却費	1,031	353	178	1,563	9	1,573
のれん償却額	—	—	198	198	—	198
利息及び配当金等収入	291	2,482	0	2,774	△74	2,699
支払利息	1	1	72	76	△74	1
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	909	910	224	2,044	3	2,048

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△572百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

(2) セグメント資産の調整額△2,002百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△4,182百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産2,180百万円であります。

(3) その他の項目のうち、「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」は当社で計上したものであり、それらを除く項目はセグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益は連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益 (注) 1						
外部顧客への経常収益	33,981	30,606	31,522	96,110	—	96,110
セグメント間の内部経常 収益又は振替高	129	15	48	193	△193	—
計	34,110	30,622	31,570	96,304	△193	96,110
セグメント利益 (注) 3	1,570	5,145	215	6,931	△623	6,308
セグメント資産	58,811	119,369	14,634	192,814	△1,777	191,036
その他の項目						
減価償却費	1,075	568	136	1,780	9	1,790
のれん償却額	—	—	214	214	—	214
利息及び配当金等収入	354	2,521	0	2,875	△73	2,801
支払利息	—	2	73	76	△73	2
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	1,143	871	256	2,271	5	2,276

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△623百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

(2) セグメント資産の調整額△1,777百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△4,202百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産2,424百万円であります。

(3) その他の項目のうち、「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」は当社で計上したものであり、それらを除く項目はセグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益は連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,730.44円	1,560.77円
1株当たり当期純利益	35.93円	49.97円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	891	1,240
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	891	1,240
普通株式の期中平均株式数(株)	24,820,422	24,820,418
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2018年4月27日開催の取締役会決議による2018年5月31日付与の2018年第1回新株予約権(普通株式750,000株)及び2018年第2回新株予約権(普通株式710,700株)	同左

(重要な後発事象)

該当事項はありません。